

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 5月19日更新

事務事業名		熊本県中小企業団体中央会参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	6	産業の健康			所属部	政策部	課長名	松田 勝
	施策	27	商工業の振興			所属課	商工振興課	担当者名	田代 真紀
	施策の柱	72	人材確保と生産・販売力の強化			所属班	商工振興班	(内線)	1273
予算科目	会計一般	款 7	項 1	目 2	事業連番 10306	根拠法令	成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	中小企業団体への参画によって、市内企業のつながりや事業の展開ができる。熊本県中小企業団体中央会の設立に伴い協議会が発足したが、負担金の支出は合併し本市が誕生したことにより発生した。
【業務の流れ】	請求書受付、支払及び中央会からの調査依頼への回答 中央会主催事業への参加(総会、研修会)、情報等の提供を受ける。
【主な予算費目】	負担金
【意見や要望】	特になし。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)	29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
・請求書受付、支払及び中央会からの調査依頼等への回答	次年度も引き続き同様の活動を展開していく。	
・中央会主催事業への参加(総会、研修会)、情報等の提供を受ける。		
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
ア: 中央会関係研修会開催数	回	
イ: 請求書受付、支払業務	H	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
熊本県中小企業団体中央会	ア: 中央会加盟団体数	社
	イ:	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
中央会加盟団体がスムーズな運営が図ることができる。	ア: 中央会主催事業への出席数	回
	イ: 中央会への相談件数	件
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
中央会主催の事業に参加することで情報収集に繋がる。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度実績(決算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	30年度予定	31年度見込	32年度見込
① 活動指標	ア 回		5	5	5	5	5	5	5	5
	イ H		12	12	12	5	5	5	5	5
② 対象指標	ア 社		566	566	580	565	580	580	580	580
	イ									
③ 成果指標	ア 回		1	1	1	1	1	1	1	1
	イ 件		1	1	3	1	1	1	1	1
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	250	150	150	150	150	150	150
		(A) 事業費計	千円	250	150	150	150	150	150	150
		(A)のうち指定経費	千円	150	150	150	150	150	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	0	0
(B) 人件費計	延べ業務時間	時間	16	16	8	16	0	0	0	
	(B) 人件費計	千円	63	59	31	0	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	313	209	181	150	150	150	150	

事務事業名	熊本県中小企業団体中央会参画事業	所属部	政策部	所属課	商工振興課
-------	------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②29年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 中央会への参画事業であり目標達成の見込みはある。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 中央会支援であるので負担金を支出することで向上余地はないが、中小企業の経営基盤を確立していくためには継続的支援が必要である。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似する事務がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 類似市町村とも同額の負担であるので検討の余地なし。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 負担金の支出と研修会への参加であり受動的立場のため削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 加盟団体の健全運営が図られることにより税金の安定確保ができ、不特定多数の人に利益をもたらすことができるので公正・公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 参画事業のため役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

中央会に負担金を支出することでスムーズな運営が図られ、加盟団体の経営基盤が確立されたと思われる。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善 (有効性改善)
事業のやり方改善 (効率性改善) 事業のやり方改善 (公平性改善)
現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策